

# 地球にやさしい新しい稲作法の研究と普及

## こんな問題に取り組んでいます

途上国では人口増加が激しく、食料の安定的生産を急ぐ必要があります。食料生産のためには、土地と水が必要ですが、これらは限られた資源です。また、食料生産の環境負荷を下げることも重要です。そこで、SRI (System of Rice Intensification) と呼ばれる方式の途上国への適用可能性とその効果を研究しています。

## こんなことがわかってきました

SRIを行うと、多くの場合増収しますが、減収することもあります。どのような条件で増収／減収するかがわかってきました。

SRIの間断灌漑は、メタン抑制効果が明らかでした(右下図)。水資源も節約できるため、水の有効利用が可能です。加えて、強い稲が育つこともわかってきました。

## 研究の成果はこんな分野に活かされます

途上国での普及に際し、技術的要因・社会的要因・農民の心理的要因をどう改善するかについての指針を与えることができます。インドネシア・ラオス・インドなどでの経験をもとに、ベトナム農村でのSRI普及プロジェクトを本年5月より開始しました。

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 国際協力学専攻  
山路永司 <yamaji@k.u-tokyo.ac.jp>



インドネシア・ロンボク島の農民  
SRI稲と慣行栽培稲とを持つ



カンボジア農村でのSRI説明会



水田から発生するメタンガスを採取

温室効果ガスポテンシャル  
gCO<sub>2</sub>eq / m<sup>2</sup> / period

